

令和7／8年の需給見通し

令和7年5月 基本指針

【令和6/7年の主食用米等の需給見通し】

(万トン(玄米))

令和6／7年	令和6年6月末民間在庫量	A	153
	令和6年産主食用米等生産量	B	679
	令和6/7年主食用米等供給量計	C=A+B	832
	令和6/7年主食用米等需要量	D	674
	令和7年6月末民間在庫量	E=C-D	158

【令和7/8年の主食用米等の需給見通し】

(万トン(玄米))

令和7／8年	令和7年6月末民間在庫量	E	158
	令和7年産主食用米等生産量	F	683
	令和7/8年主食用米等供給量計	G=E+F	841
	令和7/8年主食用米等需要量	H	663
	令和8年6月末民間在庫量	I=G-H	178

注1:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。
注2:上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。

需給見通し

【令和6/7年の主食用米等の需給実績(速報値)】

(万トン(精米)) (万トン(玄米))

令和6／7年	令和6年6月末民間在庫量	J	135	153
	令和6年産主食用米等生産量	K	606	679
	政府備蓄米供給数量	L	32	36
	令和6/7年主食用米等供給量計	M=J+K+L	773	868
	令和6/7年主食用米等需要量	N	633	711
	令和7年6月末民間在庫量	O=M-N	140	157

【令和7/8年の主食用米等の需給見通し】

(万トン(精米)) (万トン(玄米))

令和7／8年	令和7年6月末民間在庫量	O	140	157
	令和7年産主食用米等生産量	P	645～668	728～745
	政府備蓄米供給数量	Q	21	24
	令和7/8年主食用米等供給量計	R=O+P+Q	807～829	908～926
	令和7/8年主食用米等需要量	S	624～631	697～711
	令和8年6月末民間在庫量	T=R-S	176～205	198～229

注1:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。
注2:上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式や枠外の民間輸入(令和6/7年:約4万実トン)による輸入米は含まれない(財務省「貿易統計」より。)
注3:令和7年産の予想収穫量(9月25日現在)や精米歩留り率等が判明した後に、これらを需給見通しの各数値に適宜反映させる。

R7/8年の需給見通しに関する基本的な考え方

これまで

- 需要見通しは、1人当たりの消費量の減、人口減少等による需要のマイナス・トレンドの継続を前提として算定。
- 生産見通しは、次年度の期末在庫量の水準を踏まえて設定。
- いずれも、玄米ベースのみで算定。

R7/8年の需給見通し

- 需給を把握するためには、玄米ベースのみでなく、精米ベースでの把握が必要。
- 需要見通しは、人口減少や直近の1人当たり精米ベースの消費量の実績、インバウンド需要の動向、精米歩留りを考慮して幅で設定。

これを検証するものとして、とう精数量・精米歩留りの実績を踏まえた需要量の推計を行う。

- 生産見通しは、6月末時点の水田における作付意向面積や直近の単収、8月15日現在の10a当たり収量の見込みを考慮して幅で設定。（9月25日現在の予想収穫量を踏まえて変更）

令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出（見直し）【精米ベースで算出】

- 1人当たり消費量は、直近5年ではマイナス・トレンドとなっておらず、直近の需要の動向を反映するため、直近5年の平均値と最大値の幅を持って設定。
- その上で、人口推計やインバウンド需要を考慮して、需要見通しを幅を持って設定。

【令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出方法】

I 1人当たり消費量（精米ベース）の算出

① 直近5年（令和2/3年～6/7年）の需要実績（精米ベース）から当該年のインバウンド需要を減じた上で、当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量（精米ベース）を算出

※需要実績にはインバウンド需要が含まれているため、これを減じた上で、人口で除し、日本在住者の1人当たり消費量を算定

$$(\text{需要実績} - \text{インバウンド需要}) \div \text{人口} = \text{1人当たり消費量}$$

② ①で算出した直近5年の1人当たり消費量の平均値と最大値の幅をもって設定

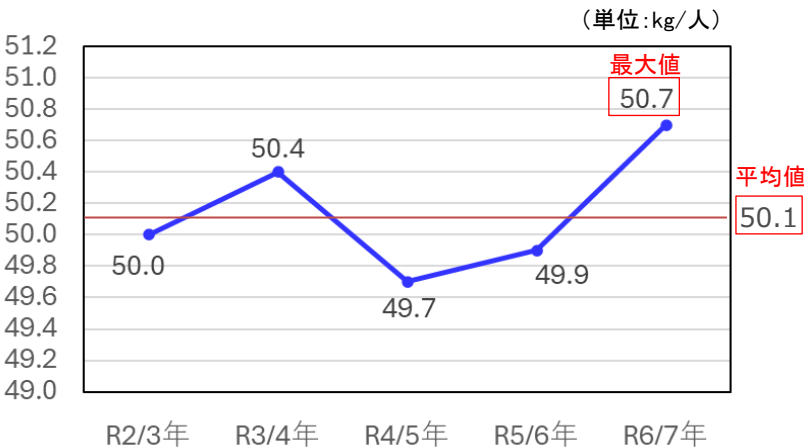
II 需要見通し（精米・玄米ベース）の算出

① Iの②で算出した「平均値」と「最大値」について、令和7年の人口（推計値）を乗じた上で、令和7/8年のインバウンド需要（試算）を加え、需要見通しを算定

$$(\text{1人当たり消費量} \times \text{人口推計}) + \text{インバウンド需要(試算)} = \text{需要見通し}$$

② ①で算出した精米ベースの需要量見通しについて、精米歩留りの直近5年の実績ベースの幅（直近5年平均値、直近5年最低値）をもって玄米換算

（参考1）1人当たり消費量（精米ベース）の推移



（参考2）訪日外国人による米の需要量の推移

(単位: 万トン)

R2/3	R3/4	R4/5	R5/6	R6/7	R7/8 (推計値)
0.0	0.1	1.9	5.1	5.7	6.1

（参考3）精米歩留りの推移

(単位: %)

2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出

【算出のポイント】

- ① 1人当たり消費量：マイナストrend⇒直近5年の実績ベースを幅で設定
- ② インバウンド需要：新たに需要量に盛り込む
- ③ 精米歩留まり：直近5年の実績ベースを「幅」で設定

【令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出方法】

I 1人当たり消費量(精米ベース)

①直近5年平均値

直近5年平均
需要実績

629万トン

−

直近5年平均
インバウンド需要量
(試算)

2.6万トン

÷

直近5年平均人口

124,950千人

=

直近5年平均
一人当たり消費量
(インバウンド需要除く)

50.1kg/人

②直近5年の最大値(令和6/7年)

令和6/7年
需要実績

633万トン

−

令和6/7年
インバウンド需要量
(試算)

5.7万トン

÷

令和6年人口

123,802千人

=

令和6/7年
一人当たり消費量
(インバウンド需要除く)

50.7kg/人

II 令和7/8年需要量(玄米ベース)

一人当たり消費量
(インバウンド需要除く)

50.1kg/人

×

令和7年人口
(推計値)

123,220千人

=

令和7/8年需要量
(インバウンド需要除く)

617.9万トン

+

令和7/8年
インバウンド需要量(試算)

6.1万トン

=

令和7/8年需要量
【精米ベース】

624.0万トン

〜

令和7/8年需要量
【玄米ベース】

697.2万トン

〜

令和7/8年需要量
(インバウンド需要除く)

50.7kg/人

×

令和7年人口
(推計値)

123,220千人

=

令和7/8年需要量
(インバウンド需要除く)

624.5万トン

+

令和7/8年
インバウンド需要量(試算)

6.1万トン

=

令和7/8年需要量
【精米ベース】

630.6万トン

〜

令和7/8年需要量
【玄米ベース】

710.9万トン

玄米換算

／0.896

／0.886

(参考1)一人当たり消費量(精米)の推移

	需要実績 (万トン)		インバウンド 需要 (万精米トン) ②	人口 (千人) ③	1人当たり 消費量 (精米kg) (①-②)÷③
	玄米	精米 ①			
R2/3年	704.0	631.3	0.0	126,146	50.0
R3/4年	701.5	632.8	0.1	125,502	50.4
R4/5年	691.1	622.3	1.9	124,947	49.7
R5/6年	704.9	626.2	5.1	124,352	49.9
R6/7年	710.6	633.1	5.7	123,802	50.7
5年平均	702.4	629.1	2.6	124,950	50.1

(参考2)精米歩留りの推移 (単位: %)

2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

令和7/8年の主食用米の生産見通しの算出（試算）【精米ベースで算出】

【令和7/8年の主食用米等の生産見通しの算出方法】

I 水田における作付意向（令和7年6月末時点）

各県の令和7年6月末時点の主食用米の作付意向面積：全国計136.3万ha

II 令和7年産水稻の8月15日現在における10a当たり収量の前年比見込み

7年産水稻の10a当たり収量の前年比見込み		都道府県数
上回る	（対前年比 106%以上）	1
やや上回る	（対前年比 105%～102%）	12
前年並み	（対前年比 101%～ 99%）	29
やや下回る	（対前年比 98%～ 95%）	4
下回る	（対前年比 94%以下）	0

III 令和7年産主食用米の生産見通し

令和7年産主食用米の生産見通しは、

① 各県ごとに、Iの主食用米作付意向（6月末時点）面積（ha）に前年（6年産）の10a当たり収量及びIIの令和7年産水稻の8月15日現在における10a当たり収量の前年比見込み（上限値及び下限値）を乗じて生産見通しを算出

7年産
主食用米生産見通し

=

7年産
主食用米作付意向面積

×

6年産
10a当たり収量

×

7年産
10a当たり収量の
前年比見込み
（上限値、下限値）

② ①の各県別の生産見通しを合計した全国計の最大・最小値を幅をもって設定した上で、精米歩留りの直近5年平均値と最低値を用いて、幅をもって精米ベースの生産量を設定。

➡

精米ベース： 645 ～ 668万トン

歩留り0.886 ⬆ ⬆ ⬆ ⬆ ⬆ 歩留り0.896（※）

玄米ベース： 728 ～ 745万トン

※ 本年10月中旬公表予定の作物統計調査（9/25現在の予想収穫量）が公表された以降は、当該数値に置き換え（ふるい目幅1.7mm以上（参考値）に加え、農家ふるい目以上での収穫量も付記）